

基本情報



【年 齢】
32歳
【出身地】
三重県松阪市
【転出元】
三重県松阪市
【前 職】
旅行カウンター
【活動時期】
R4.6～R7.5

協力隊に応募したきっかけ

もともと三重県が大好きで、ドライブをしながら三重県の南部、東紀州エリアを何度か訪れていた時、九鬼町に出会い、景観に一目惚れしたことがきっかけで九鬼町だけではなく、尾鷲市や協力隊に興味を持ちました。何度か訪れ、たくさんの方々とお会いしていく中で、尾鷲市で活動している方々がみんな生き生きとしていたこと、東京など都会から学生たちもたくさん集まってきていて、そこに地域のお店や地元の方とのつながりもあり、人と人が自然に繋がっていく事にとっても魅力を感じ、私も尾鷲市で協力隊として活動をしていきたいと思い応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

空き家バンク業務を中心に活動している中で、日常的に尾鷲市民の方や、移住されたい方、どちらにも出会える特別な立場として、ただ単純に移住者を増やすことを目的とせず、“人と人”、“まちと人”を繋げていけるよう、移住だけに限らず何かしらの様々な関わりしるを作っていきたいなと思っています。

任期後は、引き続き毎週金曜日のラジオ体操を行い、現在住んでいる家を拠点に地域内の困り事と地域外の方の手を繋げる仕組みを作りたいと思っています。暮らすことで地域へ還元し、役割をすることで居場所となることを改めて実感できたこの経験を通して、このまちで暮らす理由そのものを体感してもらいながら伝えていきたいなと思っています。

活動内容

●空き家バンク

お家を手放されたい、貸し出されたい所有者様と、借りたい買いたい利用者様をご紹介するサービスとして運営しています。基本的には、登記簿の確認、現地にて写真撮影や図面の作成、HP掲載など一連のことを担っており、利用希望様が合った場合には物件へのご案内や町のご紹介などもしています。ご案内時には、特に所有者様が大切にしている思いや当時の暮らしをなるべくお伝えするように心がけております。

●移住体験住宅「みやか」運営

移住を検討している方が1～3ヶ月間利用できる施設として運用しており導入を始めてから7年が経過しました。合計で9組16名の方が移住または2拠点居住へと繋がっております。入居時には町内の方々へのご挨拶やまち歩きをしながら、様々な方のご紹介をし、毎週金曜日に行われるラジオ体操を始め、九鬼町内のコミュニティセンターでのイベントやお祭りにも積極的に参加を促しています。ただ空き家を探すためだけではなく地域との交流を深めて頂くことを目的としていることで、移住が決まらなかったとしても関係人口として地域との関わりを継続することへと繋がっております。

●移住者交流会実施

今年は「ひものde交流会」をサポートセンターにて開催。賀田町と古江町に移住された方がご参加くださいました。移住後に孤立せず定住へと繋がることを目的として、これからも定期的に移住者交流会を実施していきたいと思っています。

●移住フェア/相談会への出展、自主企画の移住相談会@東京開催

毎年行われる東京や名古屋、大阪での県主催の移住フェアや相談会に出展しています。令和6年度は9月にふるさと回帰フェアへ出展。14組の方がブースへとお越しくださり、内数組が尾鷲市に興味を示してくださいました。

また、自主企画として東京にて移住相談会を3回ほど開催。1組の移住へと繋げることができました。何度かお越しくださっている方との繋がりをこれからも細く長く丁寧に続けていきたいと思っています。

連絡先

■おわせ暮らしサポートセンターInstagram



@OWASEGURASHI